

市議と語ろう！ 議会報告会

平成29年11月17日(金)

- ・ 概ね1時間半を予定しております。
- ・ 今後の参考にさせていただきますので、アンケートにご協力ください。
- ・ 携帯電話は電源をお切りいただくか、マナーモードにしていただき、使用をお控えください。

松本市議会

本日の次第

- 1 開会あいさつ
- 2 議会の活動報告 午後7時05分～7時35分
- 3 質疑応答 午後7時35分～7時45分
- 4 意見交換 午後7時45分～8時30分
☞「地域づくり」に関して、「防災」、「地域公共交通」、
「若者の参加」の3グループに分かれて意見交換
- 5 閉会 (意見交換終了後、会場ごとに順次解散)

出席議員(庄内地区公民館)

議 員 氏 名			意見交換の 担当グループ
吉村 幸代	田口 輝子	忠地 義光	防 災
柿澤 潔	南山 国彦		
井口 司朗	小林 弘明	阿部 功祐	地域公共交通
青木 豊子	太田 更三		
若林 真一	上條 美智子	中島 昌子	若者の参加
犬飼 信雄	池田 国昭		

出席議員(芳川公民館)

議 員 氏 名			意見交換の 担当グループ
勝野 智行	村上 幸雄	小林 あや	防 災
芝山 稔			
今井 ゆうすけ	上條 温	上條 俊道	地域公共交通
犬飼 明美	大久保 真一		
青木 崇	川久保 文良	澤田 佐久子	若者の参加
宮下 正夫	近藤 晴彦		

議会の活動報告

1 市政の懸案事項について

松本市立病院の移転改築について

基幹博物館の建設について

市役所新庁舎の建設について



松本市立病院の移転改築について

築30年を経て施設の老朽化・狭隘化が進行

度重なる増築により施設機能の改修が必要

今後予想される医療需要の変化への対応



現病院を運営しながら、現在地での増築・改修は困難



移転改築により
新病院を建設



市議会の動き

- 平成28年4月21日 教育民生委員協議会において、「松本市立病院整備のあり方に関する将来構想」を承認
- 平成28年9月23日 市立病院建設特別委員会を設置（委員15名）
- 平成29年1月20日 市立病院建設特別委員会において、「宮地エンジニアリング(株)工場跡地」を建設候補地として選定することを了承

今後の整備スケジュール

平成29年度	基本計画策定
平成30年度	基本設計
平成31年度	実施設計
平成32年度	建設工事 着工

新病院の建設場所について

基本方針：波田地区を中心とした西部地域で用地を選定する



基幹博物館の建設について

築50年を経て老朽化・狭隘化が進行

国史跡内に立地しており現地建替は不可

移転改築
が必要



基幹博物館整備事業に着手

平成29年度	基本設計
平成30年度	実施設計
平成31年度	建設工事 着工
平成33年度	” 竣工
平成34年度	開館

市議会の動き

- 平成28年1月14日 教育民生委員協議会において、移転候補地を松本城三の丸地区内とする「基幹博物館の整備方針」を了承
- 平成28年6月13日 議員協議会において、建設予定地を「市営松本城大手門駐車場敷地」とすることを了承
- 平成28年9月23日 基幹博物館建設特別委員会を設置（委員16名）
- 平成29年4月19日 基幹博物館建設特別委員会において、「基幹博物館施設構想」を承認

延床面積：7,000㎡～8,000㎡
建設費：約100億円
（用地費、建設・展示工事費等）

基幹博物館の建設予定地について



市役所新庁舎の建設について



現状

- ・最大の問題は、**老朽化**（本庁舎は築58年）
- ・新たなハード整備ではなく、建替え時期を迎えた、**やらざるを得ない事業**

位置(候補地)

- ・現庁舎の位置を決定する際、市民を二分した激しい争い
- ・候補地の提示は、**行政を司る立場にある者の「責任」**

未来志向型庁舎

- ・旧来型の**役人集団の館から脱却**
- ・現世代の視点だけではなく、**将来世代の視点**で検討 ●

市議会の動き

平成29年2月8日 総務委員協議会において、建設場所決定までの検討の進め方及びロードマップ(案)を了承

平成29年度	建設場所選定、基本構想策定
平成30～31年度	基本計画策定
平成31～36年度	設計、建設工事
平成37年度	供用開始

平成29年6月5日 議員協議会において、**建設候補地を「現在地」とし**、有識者による検証を進めることを了承

平成29年9月4日 議員協議会において、有識者の検証結果に基づき、**新庁舎の建設場所を「現在地」とする**ことを了承

議員協議会での議論の詳細

平成29年6月5日
現在地を候補地と決定するにあたり、市民への説明の時間が必要なため、継続協議としたいとの提案もあったが、集約の結果、継続協議とはせず、市の提案のとおり了承

平成29年9月4日
現在地に建て替えることへの市民周知が不足しているとの意見が多くださったことから、今後、市として市民へ丁寧な説明をしていくことを意見として添えて了承



平成29年10月20日開催の議員協議会において、基本構想の策定に係るスケジュールについて、以下の見直しが提案されました。

- ・市民懇話会や市民ワークショップの開催後に基本構想(案)を作成
- ・基本構想(案)のパブリックコメント実施時期を平成29年度から平成30年度に先送りし、あわせて市民説明会の開催を調整

議会の活動報告

2 意見交換の小テーマについて

防災について

地域公共交通について

若者の参加について



防災について

災害時支援物資集積拠点施設整備について

平成28年4月に発生した熊本地震の被災地での調査結果を踏まえ、**災害時に政府及び全国各地から調達する大量の支援物資の受入れ、仕分け、配送を効率的に行い、物資を滞留させない体制を構築するため、支援物資の集積拠点を整備するもの**

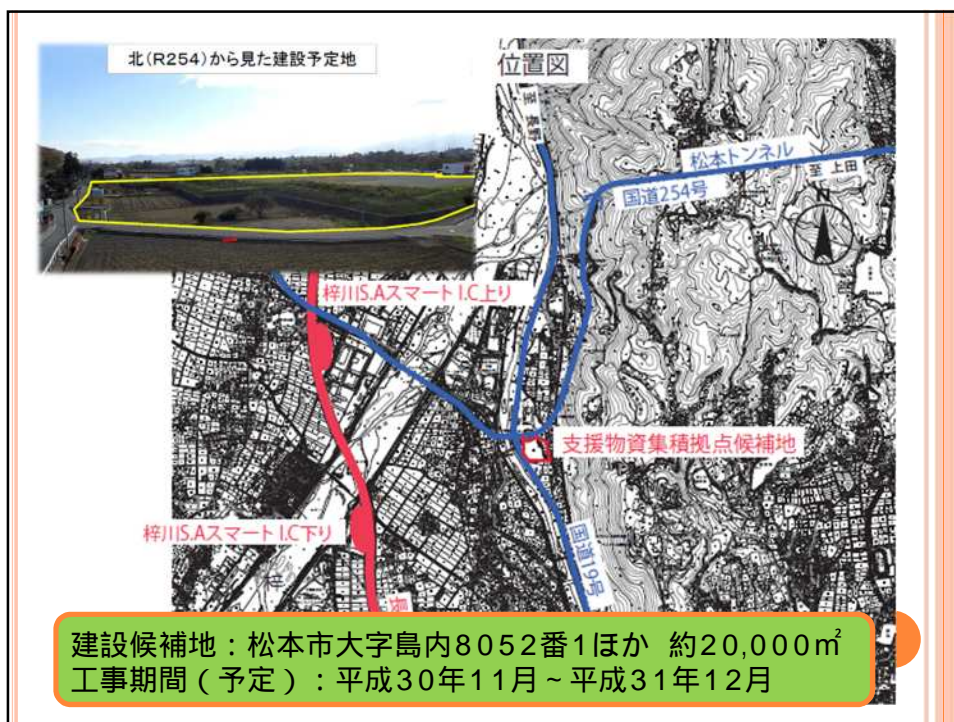
施設の概要

構造：鉄骨造平屋建て 耐火建築物

施設床面積：5,000～6,000㎡

活用方法：

- ・ 平常時 ⇒ 備蓄倉庫、消防団の活動拠点
- ・ 大規模災害時 ⇒ 本市のための支援物資集積拠点、
または被災地への支援物資の中継拠点
- ・ 大雨時（土砂災害等の危険性がある場合）
⇒ 周辺住民の一時避難所



平成28年度総務委員会の政策提言 「災害時の対応策に関する提言書」について

大規模災害時に期待される他の自治体等からの支援を迅速かつ効果的に機能させる「**受援体制**」の整備が重要であると考え、調査・研究を行いました。



調査研究の経過

- 平成28年8月3日～5日 総務委員会行政視察
神戸市、人と防災未来センター
- 平成28年9月20日 松本市危機管理部との意見交換
松本市の危機管理の状況について
- 平成28年12月8日 松本市内備蓄倉庫視察
段ボールベッド・簡易トイレ・備蓄食等

市長への政策提言

- ・大規模災害発生時、他の自治体から様々な形での支援が期待されるが、受け入れ態勢や業務が整理できていない。



提言1：大規模災害時の受援体制の整備

- ・各家庭では食糧の備蓄に対する認識はあるが、トイレ対応についての認識が薄く、凝固型簡易トイレや携帯トイレを備蓄するという認識もほとんどない。



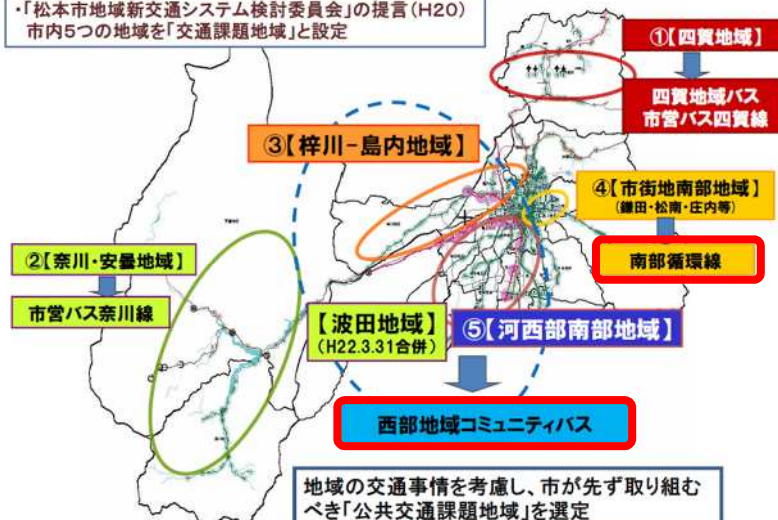
提言2：各家庭における簡易トイレの備蓄と周知・啓発



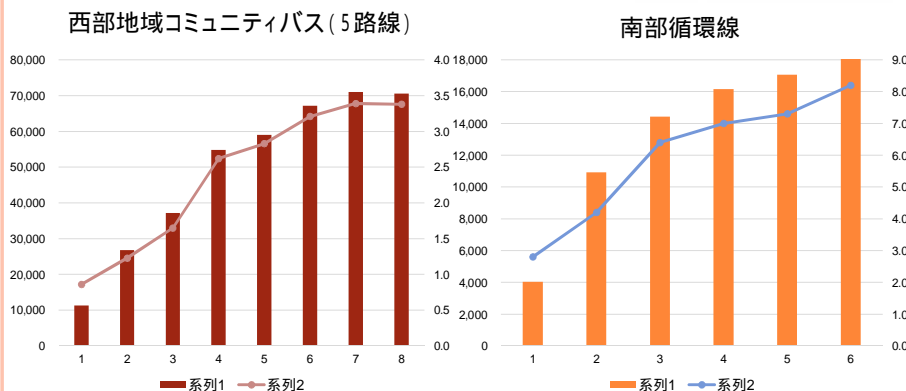
地域公共交通について

西部、南部地域における新交通システムについて

「松本市地域新交通システム検討委員会」の提言(H20)
市内5つの地域を「交通課題地域」と設定



利用者の推移



平成28年度の利用者数

- ・西部地域コミュニティバス 利用者数:70,507人(1便当たり3.38人)
- ・南部循環線 利用者数:19,098人(1便当たり8.23人)

地域主導型公共交通事業について

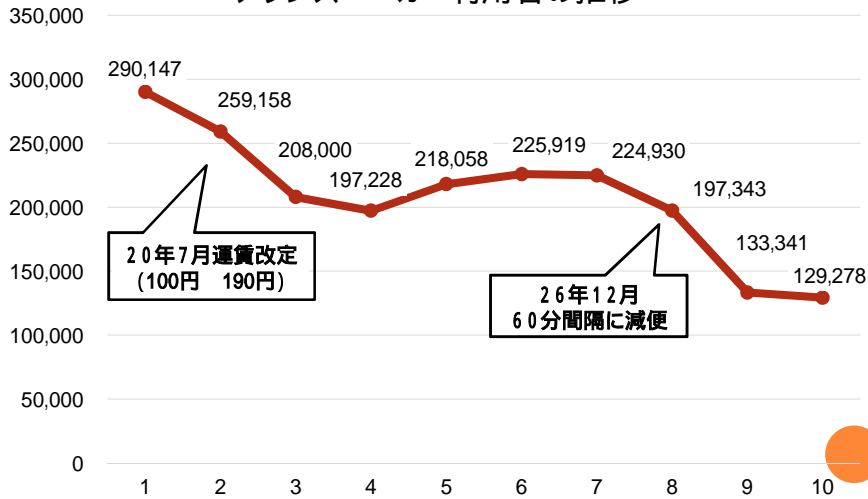
- ・運行経費の90%を市が補助(限度額850万円)
- ・残り10%は運賃や地元負担で確保

⇒ アルピコ交通によるバス路線廃止申入れを受け、地域主導による「ほしみ線」(三才山線の後継)、「中山線」、「入山辺線」の運行を開始

路線	運行区間	運行便数 (各路線平日のみ)	運賃	1便当たりの 利用者数 (H28)
波田循環バス	東部・中部・西部循環 中部・東部～竜島温泉	買物便 週3便 竜島温泉便 月3便	100円	7.9人
ほしみ線	松本駅～一の瀬	週35便	大人300円 小人100円	3.9人 (28.11～)
中山線	松本駅～コモ庄内～ 古屋敷(ローズガーデン)	週39便	大人200円 小人100円	4.7人 (29.1～)
入山辺線	松本駅前～牛立	週40便	大人300円 小人100円	29.4～ 運行開始

市が実施主体となる松本周遊バス「タウンズニーカー」の運行について

タウンズニーカー利用者の推移



松本周遊バス「タウンズニーカー」新ルート

平成29年8月1日～

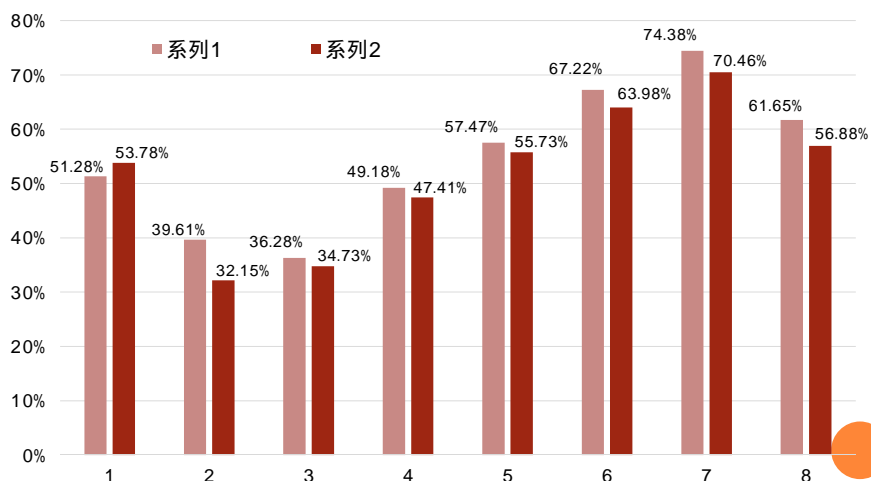


北コースは松本駅～松本城・旧開智学校を往復する観光路線に特化
西コースは浮世絵博物館・歴史の里まで延伸

平成29年8月1日から松本市が実施主体となる
 ・60分間隔を20分～30分間隔に短縮
 ・1日の運行便数を3倍に増便
 8月の利用状況は前年同期の1.8倍に

若者の参加について

最近の選挙における松本市の年代別投票率



高校生との交流事業

選挙権年齢の引き下げを受けて、新たに有権者となる若者に市議会を身近に感じ、市政や地方自治の関心を持ってもらうための取組み

議員が学校に出向いて、市議会の仕組みや役割、議員の仕事に関する説明と高校生からできる政治参加の事例を紹介し、生徒と意見交換を実施

平成27年12月 松本工業高校 1年生
平成28年12月 松本工業高校 1年生
平成29年2月 エクセラン高校
3年生



取組みの成果

平成29年2月
松本工業高校電子工業科1年A組
⇒「高校生や高齢者など交通弱者に
配慮した公共交通の充実」と「自転
車利用者に優しい街づくり」を求め
る2件の請願を市議会に提出



平成29年3月
市議会建設環境委員会で審査
代表生徒4人が出席し、請願の
趣旨説明や委員からの質疑に対応



2つの請願は全会一致で採択

大学生との意見交換会

平成29年2月 信州大学学生
(4年生)



松本キャンパスの学生を対象に実施したアンケート
結果を踏まえた学生からのプレゼンテーション「**信
大生の実態からみえる松本市に対する想い**」を受け
て、意見交換


平成29年10月 松本大学学生
(3・4年生)



「**市立病院と西部地域のまちづくりについて**」を
テーマに意見交換

意見交換(庄内地区公民館)

テーマ『地域づくりについて』

- | | |
|----------|---------|
| 1 防 災 | 会場:大会議室 |
| 2 地域公共交通 | 会場:講座室 |
| 3 若者の参加 | 会場:工作室 |
- 

意見交換(芳川公民館)

テーマ『地域づくりについて』

- | | |
|----------|---------|
| 1 防 災 | 会場:大会議室 |
| 2 地域公共交通 | 会場:視聴覚室 |
| 3 若者の参加 | 会場:講義室 |
- 

市議と語ろう！議会報告会

意見交換用資料

- 防災 P 17
- 地域公共交通 P 19
- 若者の参加 P 23

長野県中部を震源とする地震

発生日時:平成23年6月30日(木) 午前8時16分

地震の規模:M5.4 (震源の深さ4km)

最大震度:5強 (松本市丸の内)

地震発生回数:震度5強(1回)、震度4(2回)、震度3(4回)
震度2(10回)、震度1(24回)

(23年9月1日現在)

被害状況(24年4月末現在)

- ・人的被害 死亡1名
重軽傷17名(骨折8人、打撲等9人)
- ・建物被害 半壊24件
一部損壊等6,292件

避難者数 延べ158人(指定避難所)

・指定避難所開設 4カ所

7月11日まで:南部体育館

7月4日まで :庄内地区公民館、芳川公民館、寿公民館

自主避難所開設 2カ所

・並柳団地集会所(延べ57人)

・県住双葉第一団地集会所(延べ33人)

災害廃棄物受入れ 3,982件、1,590.9t

心の相談窓口受付 28件(電話19件、来訪9件)

ボランティア活動 60件、179人

公共施設の被害 別紙1のとおり

(23年9月1日現在)

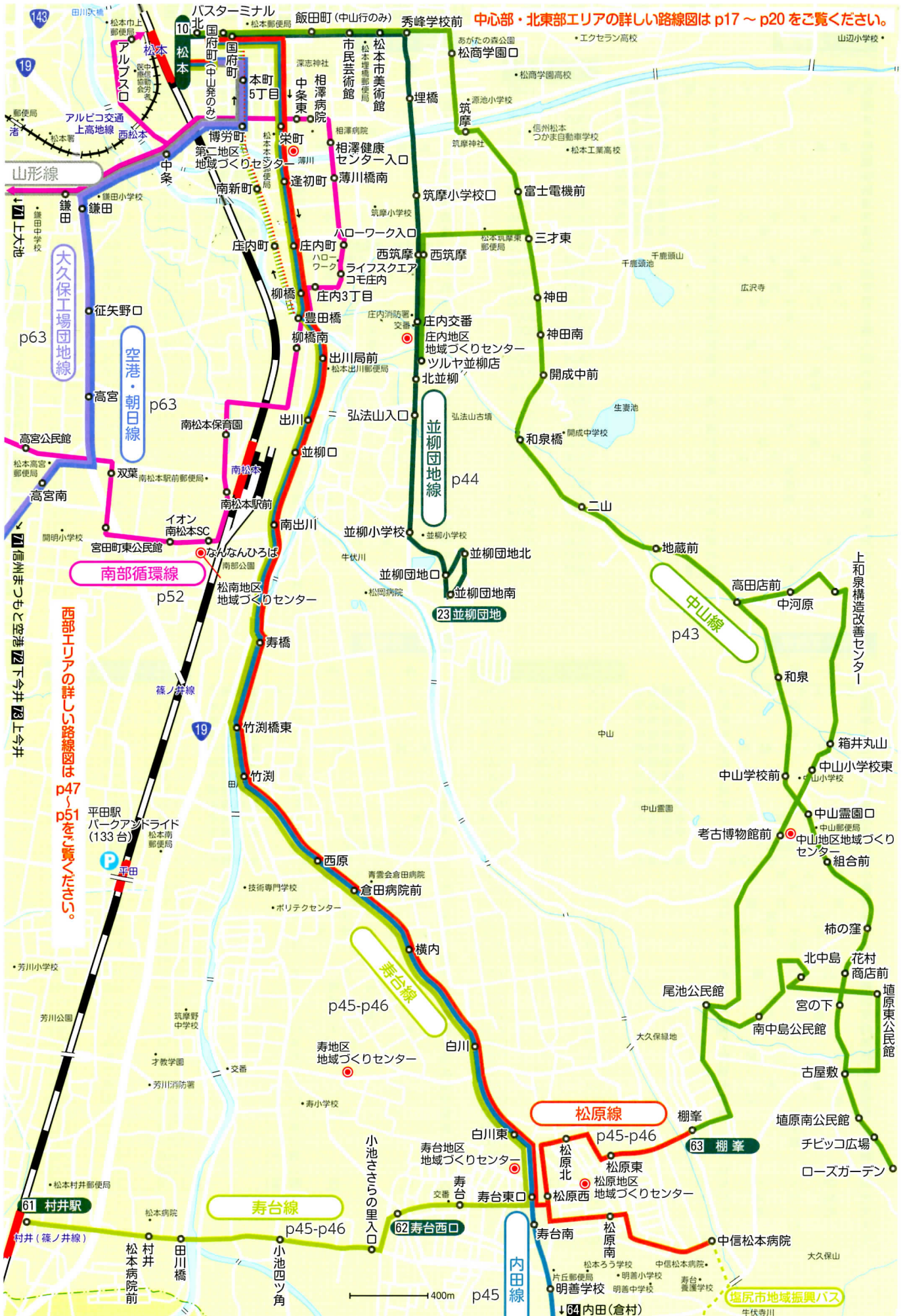
公共施設の被害（被害額100万円以上の施設）

別紙 1

担当部	担当課	施設名	被害状況	※被害額(千円)
政策部	文化振興課	○音楽文化ホール	ホール天井部・天井裏空調ダクト配管の一部損傷等	222,830
こども部	保育課	○並柳保育園	テラス及び階段にひび割れ、一部給水管の漏れ、一部排水管の外れ	1,260
農政部	耕地林務課	○畑かん施設(並柳 並柳上堤池)	樋管の破損	4,600
	公設市場	○公設市場	主棟仲卸売場通路水漏れ、管理棟防災盤電源不良、ポンプ室受水槽パネル破損等	5,400
教育部	学校教育課	○源池小学校	校舎外壁3面、体育館1面の外壁亀裂	8,020
		○鎌田小学校	給食コンテナ室、第2理科室、ブロック塀等の破損	7,120
		○寿小学校	体育館天井、ベランダ、東校舎外壁等の破損	9,590
		○二子小学校	体育館ステージ壁、内壁、軒天、校舎エキスパン、受水槽等破損	17,040
		○開明小学校	校舎及び体育館の耐震補強部分の損傷、高架水槽の損傷等	37,040
		○筑摩野中学校	普通教室間仕切壁、体育館ステージの損傷	3,840
		○信明中学校	体育館外壁、柔剣道場基礎部分の損傷	3,900
	学校給食課	○西部学校給食センター	調理場内の天井・壁に亀裂・損傷、事務室系統空調機、自動洗浄排水水フィルターの損傷等	4,490
	生涯学習課	○中央公民館	壁に亀裂、渡り廊下に段差、ホール天井裏ダクトの破損補修、大会議室の天井落下、倉庫のひび割れ	1,920
	松本城管理事務所	○国宝松本城天守	内側壁面ひび割れ等 28カ所	4,100
		○史跡松本城内	①埋門南側石垣の変状 1カ所	200,000
			②黒門一ノ門 壁面ひび割れ等 20カ所	3,800
			③太鼓門枡形 壁面ひび割れ等 35カ所	11,400
	④二の丸土蔵 壁面ひび割れ等 13カ所	1,300		
博物館	○はかり資料館	外壁・内装漆喰剥落等	1,420	
	○旧開智学校	藤棚破損、校舎漆喰ひび割れ	3,000	
体育課	○西部体育館	軒下落下等	1,140	
	○ゆめひろば庄内	外構陥没	10,090	
合 計				563,300

※被害額には、一部概算見積額を含みます。

松本市南東部路線図



南東部

41

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図を使用したものです。

中山線

p43

林城跡

中山線

p43

通学・通勤便

平日毎日 古屋敷～松本駅

通院・買物便

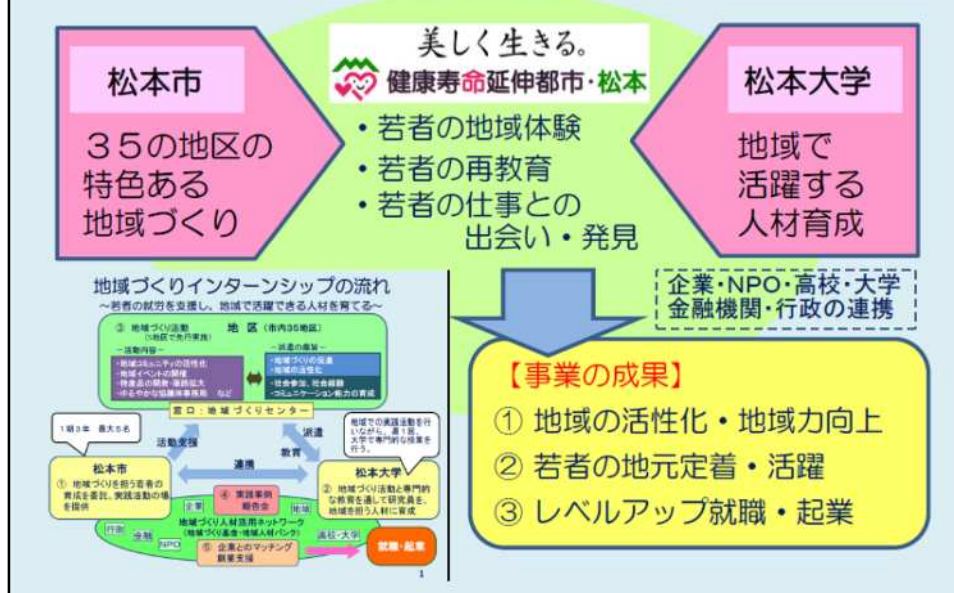
月曜日 古屋敷～中山和泉～ツルヤ並柳店～バスターミナル北

水曜日 中山埴原南～中山埴原西～ツルヤ並柳店～バスターミナル北

金曜日 中山埴原南～中山棚峯～ツルヤ並柳店

400m

地域づくりインターンシップ戦略事業の概要



地域づくりインターン戦略事業の成果

若者の参加による地域活性化と人材育成を目指す松本独自の取り組み

松本大学と連携し、平成28年度までに7人の卒業生(1期生5人、2期生2人)が大学の専門教育を受けながら地域に入って活動しています。

- 濱 由佳子さん(中央地区)** 下町会館で誰もが集える「憩いの場」を運営
- 塚原 有香さん(鎌田地区)** 地区のお宝発掘事業を企画
- 岩垂 綾さん(入山辺地区)** 規格外農産物の野菜市開催、地域の魅力を発信
- 丸山 裕也さん(四賀地区)** 地区の協議会を支援、移住者との交流事業を企画
- 松本 尚子さん(奈川地区)** エゴマを活用した特産物のブランド化を企画
- 伊藤 実沙子さん(芳川地区)** 食を通じた地域づくりとしてキッズクッキングを企画
- 一色 美月さん(新村地区)** 地区と松本大学とのパイプ役となり地域防災を推進

平成29年度からは、3期生として新たに4人が加わり、それぞれ庄内地区、中山地区、寿地区、本郷地区に入って活動しています。